

# 地域ネットワークニュース

～平成25年3月の勉強会のお知らせ & 2月の勉強会報告～

## 第182回 地域ネットワーク勉強会

### グループホームってどんなところ？ ～障害者の暮らしとそのサポート～

講師：中核地域生活支援センター「海匠ネットワーク」  
障害者グループホーム等支援ワーカー 英一馬氏

3月18日(月)  
午後7時～午後9時  
神栖市保健・福祉会館内にて  
参加費無料

精神科病院に長期入院している精神障害者や入所施設で暮らしている知的障害者の地域移行の支援が進められている中、その生活形態の一つとしてグループホームが注目を集めており、全国的にも積極的な開設が求められています。また、自宅で家族の支えを受けながら生活している人が、親の加齢などにより同居が困難になったときも、グループホームであれば、大きく環境を変えずに住み慣れた地域で暮らしを続けることができます。

今回の勉強会では、入居者の暮らし、グループホームの支援内容、入居費用といったグループホームでの生活について千葉県旭市にある海匠ネットワークの英さんより情報提供頂きます。

障害者支援関係者やグループホームの開設に関心のある方等々、多くの方の参加をお待ちしております。

「障害者グループホーム等支援ワーカー」は千葉県の独自事業で、千葉県の13圏域毎に配置されています。

グループホーム・ケアホーム等の空き情報の提供、新規開設する運営者や入居する障害者へのサポートなど、グループホームに関する総合的な支援を行っています。



お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 三浦

## 第181回 地域ネットワーク勉強会報告

2月25日開催〈参加者32名〉



### 知的障害者施設の利用者支援の現状

### と短期入所の利用について

講師：社会福祉法人鹿島育成園 育成寮副主任 中村厚志氏

鹿島育成園育成寮では、入所者の半数以上が50歳を超え、利用者の高齢化や障害の重度化が進んでいる現状にあります。その課題をもとに、中村さんは他施設の見学をして対応策を模索し続けました。その結果、日中活動では作業班や農耕班といった“何かしら活動をしなくてはならない”という考えが従来から施設の特徴としてあることに気づきました。そして“【ゆったりとした活動プログラム】があってもいいじゃないか”という発想の転換から、高齢者向けの新たな支援が誕生しました。

施設利用者の移り変わりに合わせて利用者目線で考えられている活動があり、施設は利用者にとって充実した生活の場の一つであることを感じました。

また、短期入所（ショートステイ）については、『緊急時のために是非、事前に見学や体験利用をしてください』と説明されました。

緊急時の受け入れ態勢は整っていますが、実際に利用する本人の立場から考えると緊急時に備えてその施設に“慣れておく”こと、ご家族にとっては施設の環境や状況を“知っておく”ことが、利用者・ご家族・受け入れ施設の3者が安心できるポイントであることを伝えていただきました。